

↓(事務局へ)主管課記載の上、課ごとにセルを色分けしてください(ソートしやすくなります)

()内は累計数

基本目標① 江差ブランド製品づくりで仕事をつくる										
重要業績評価指標(KPI)の進捗										
KPINo.	主管課	KPI名	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み (H31の)目標値			
1	農務	農産物販売額	568	615	612	462	598 504百万円			
2	水産	水産物販売額	525	601	457	522	512 507百万円			
3	商工	江差の地場資源を活用した新商品の開発件数		4(4)	6(10)	3(13)	2(15) 12件 (当初5件)			
4	農務 水産	農業機械・漁具等購入費用助成活用件数	45(45)	42(87)	22(109)	12(121)	6(127) 83件(累計)			
5	農務 水産	共済掛金等助成件数	151(151)	142(293)	139(432)	140(572)	137(709) 288件(累計)			
6	農地	農地集積率	50.0%	50.0%	64.0%	64.0%	64.0% 68.0%			
具体的な施策:①江差ブランド製品づくり										
主な取組名										
6次産業化の取組推進										
事業No.	主管課	主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望
1	商工	【事業名】 一×二×三業懇話会の開催 【事業内容】 基幹産業である1次産業とこれに関係する2次・3次産業が連携を強化し、互いのノウハウを持ち寄って新しいビジネスの展開に取り組むための「一×二×三業懇話会」を開催する。	予算		60	252	184	283	●異業種間交流を促し江差ブランド製品、農林漁業体験メニュー等の開発を進めているが、今なお町が主導で進めている状況にある。	●懇話会の回を重ねる中で結びついた参加者同士が、企画した事業を自立して展開する。
			決算		43	43	42	283		
2	まちづくり推進	【事業名】 江差町まちづくり推進交付金創設(地域ブランド開発等支援) 【事業内容】 江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進施策として、地域の雇用創出や産業基盤の強化、交流人口の拡大、地域活性化等、まちづくりに資する各種の取組に対し交付金を交付(平成28年度創設、令和元年度終了) ・交付率 2/3 ・上限額 1,000千円 ・下限額 100千円	予算		全体予算で10,000千円	全体予算で10,000千円	全体予算で10,000千円	全体予算で10,000千円	●町議会からも情報発信(PR)をしっかりと声もあり、町広報誌への年複数回の掲載を行っているが、新たな商品化への機運は高まりつつあるものの、パッケージデザインの作成の申請が主になっている。	●平成28年度に創設したまちづくり推進交付金については、令和元年度にて一度終了することとなることから、次期総合戦略の策定と合わせて継続や改正の協議が求められる。
			決算		2,017千円	1,644千円	1,136千円	126千円		

3	まちづくり推進	【事業名】 ふるさと納税特典品の充実	予算	33,583	86,035	105,039	121,543	79,512	●平成30年度の当初から総務大臣通達により、 ①返礼品割合を3割以下とする(寄附金額の増額調整等) ②原則地場産品に限定する(町外から仕入れてそのまま販売している返礼品を取り止め)の2点について見直しを行ったところ、寄附件数及び寄附金総額が大幅に落ち込んだことが課題としてあげられ、新たな一手により自主財源の確保を推進することが求められている。	●制度を遵守しての運用が基本ではあるが、町内のお礼品についてはある程度掘り起しが進み、今後は新たなポータルサイトとの契約が必要となってくる。また、ぶらっと江差への事務委託等、新たな体制の検討を図る。	
		【事業内容】 特典付(お礼品)ふるさと納税制度の運用をへ平成27年4月30日より開始 ・平成28年7月から「ふるさと納税推進員を配置」し、町内事業者回りを強化、新たな返礼品事業者や返礼品の掘り起こしを強化しながら、各事業所が「稼ぐ力」・「儲ける仕組み」を構築し、特産品のPR及び自主財源の確保を図る。	決算	29,252	80,362	96,260	65,154	54,730			
4	商工	【事業名】 各種物産展、イベント等でのPR	予算		2,507	3,038	301	558	●檜山7町と東京特別区との連携事業のほか現在出展している各種催事等以外においても積極的に参加し、江差町の特産品のPRを図る。	●既存の連携事業を継続する一方、より有効な特産品PRの場・方法を模索する。	
		【事業内容】 特産品PRのための催事出店等	決算		2,296	2,864	209	558			
主な取組名											
異業種間交流の促進											
主な事業名											
単位:千円											
H27											
H28											
H29											
H30											
H31(R1)見込み											
課題											
今後の展望											
1 (再掲)	商工	【事業名】 一×二×三業懇話会の開催	予算								
		【事業内容】 6次産業化の取組推進で別掲	決算								
主な取組名											
江差ブランド製品の開発											
主な事業名											
単位:千円											
H27											
H28											
H29											
H30											
H31(R1)見込み											
課題											
今後の展望											
1 (再掲)	商工	【事業名】 一×二×三業懇話会の開催	予算								
		【事業内容】 6次産業化の取組推進で別掲	決算								
2 (再掲)	まちづくり推進	【事業名】 江差町まちづくり推進交付金創設	予算								
		【事業内容】 6次産業化の取組推進で別掲	決算								
3 (再掲)	まちづくり推進	【事業名】 ふるさと納税特典品の充実	予算								
		【事業内容】 6次産業化の取組推進で別掲	決算								

		主な取組名						課題	今後の展望
		アンテナショップ等の充実							
		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	
2 (再掲)	まちづくり推進・観光	【事業名】 江差町まちづくり推進交付金創設	予算						
		【事業内容】 6次産業化の取組推進で別掲	決算						
3 (再掲)	まちづくり推進	【事業名】 ふるさと納税特典品の充実	予算						
		【事業内容】 6次産業化の取組推進で別掲	決算						
5	観光	【事業名】 ぷらっと江差の充実	予算				8,160	6,461	
		【事業内容】 販売情報管理強化、商品充実及び店舗PR	決算				8,160	6,461	
		主な取組名						●町民に魅力ある店舗づくり ●他の道の駅など同型店との差別化 ●インターネット販売やふるさと納税商品の充実等、店舗以外での販売力強化	●課題解決に向けた取り組み強化
		ふるさと納税特典品の充実							
		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	
2 (再掲)	まちづくり推進	【事業名】 江差町まちづくり推進交付金創設	予算						
		【事業内容】 6次産業化の取組推進で別掲	決算						
3 (再掲)	まちづくり推進	【事業名】 ふるさと納税特典品の充実	予算						
		【事業内容】 6次産業化の取組推進で別掲	決算						
		主な取組名						●町民に魅力ある店舗づくり	●生鮮品販売による魅力付け ●イベントなどの実施
		販売PRの強化							
		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	
6	観光	【事業名】 ぷらっと江差等PR	予算						
		【事業内容】 各施設における紹介	決算						
		具体的な施策:②地域資源の生産力強化						●各施設トイレなどへのぷらっと江差PRIほか	
		主な取組名							
		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	
7	農地	【事業名】 農地流動化促進補助創設(H29)	予算			2,820	2,720	2,820	
		【事業内容】 町外農業者への農地の流出抑制及び担い手農業者への集積・集約化の促進 ★補助内容 ①売主(担い手農家へ売った場合)→10a当たり1,000円 ②買主 ア 町内農業者で購入した農地が3ha以下の場合→10a当たり10,000円 イ 町内農業者で購入した農地が3haを超えた場合→アの金額に10a当たり1,000円加算 ウ 新規就農者が購入した場合→10a当たり15,000円	決算			748	2,629	2,045	
		主な成果		●集積率:約50%	●集積率:約50%	●補助金交付件数:11件(売主:7件、買主4件) ●担い手農業者3人、新規就農者1人が購入 ●集積率:約64%	●補助金交付件数:17件(売主:10件、買主7件) ●担い手農業者10人が購入 ●集積率:約64%	●補助金交付件数:16件(売主:11件、買主5件) ●担い手農業者5人が購入 ●集積率:約64%	
				※従前は江差町の担い手農業者の耕作面積を基に集積率を積算していたがH29より江差町の担い手農業者及び他町村の担い手農業者の耕作面積の合算で集積率を積算することに変更となり、集積率が上がっている。					
		●町外農業者への農地の流出は、賃貸借により借りていた農地をそのまま購入する形が多く、依然として流出が続いている。						●道営基盤整備事業と並行し事業対象地区での大区画化に合わせ、近傍農地間の売買を当該補助事業により促進し担い手農業者の集積率を目標に近づける。	

		主な取組名						課題	今後の展望	
		単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み			
8	水産	【事業名】 ナマコ、アワビ等栽培漁業の推進	予算	9,541	12,541	5,591	5,591	4,266	●アワビについては、種苗放流を継続しているものの漁獲に結びついていないことから、今後の事業継続を検討する。	●漁業者と協議しながら成果の見えていない事業については廃止とし、継続するもの、新たな事業の検討を行う。
		【事業内容】 ひやま漁業協同組合江差支所所属の漁業者団体が実施している種苗生産、種苗放流、施設整備、試験調査などの増養殖事業に対し、補助を行う。	決算	9,541	12,541	5,591	5,591	4,266		
		主な成果	●ナマコ種苗5万尾放流 ●アワビ種苗7.5万粒放流 ●さけ稚魚200万尾放流 ●ニシン稚魚4千尾放流 ●ナマコ養殖育成施設2基整備	●ナマコ種苗2千尾放流 ●アワビ種苗7.5万粒放流 ●さけ稚魚200万尾放流 ●ニシン稚魚12.5万尾放流 ●ナマコ養殖育成施設3基整備	●ナマコ種苗3.6万尾放流 ●アワビ種苗7.5万粒放流 ●さけ稚魚200万尾放流 ●ニシン稚魚16.6万尾放流	●ナマコ種苗3.9万尾放流 ●アワビ種苗7.5万粒放流 ●さけ稚魚200万尾放流 ●ニシン稚魚16.6万尾放流	●ナマコ種苗4.3万尾放流 ●さけ稚魚240万尾放流 ●ニシン稚魚16.6万尾放流			
		主な取組名								
		未利用低利用資源の有効活用								
		単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望	
9	水産	【事業名】 江差産ニシン活用促進対策事業	予算	-	-	500	500	500	●水揚量に左右されるため確保する量は想定できないが、確保したニシンを活用してもらえるよう周知する必要がある。	●活用する事業者も増えてきたことから、今後も漁獲量を見ながら実施を検討する。
		【事業内容】 江差町観光まちづくり協議会が江差産ニシンの活用促進を図るために必要な経費に対し、補助金を交付する。	決算	-	-	365	463	500		
		主な成果			●730.5kgを確保し、原魚購入や保管料に対する経費を支出。	●1,500kgを確保し、原魚購入や保管料に対する経費を支出。	●1,000kgを確保し、原魚購入や保管料に対する経費を支出。			
10	水産	【事業名】 プリ等の活〆技術確立のための水産物高付加価値化対策支援(H28)	予算	-	664	1,000	-	-	●平成28年5月に活〆鮮魚販売部会を設立し、当初はプリの活〆を実施し函館市場で高い評価を受けた。現在は、タラやサクラマスなど活〆する魚種を拡大し、サクラマスの活〆についても高評価を得ている。	●今後も色々な魚種での活〆技術の確立や魚価の向上、品質向上を図る。
		【事業内容】 鮮魚等の高鮮度出荷販売及び魚価の向上、品質向上を図る。	決算	-	664	1,000	-	-		
		主な成果		●江差ブランドの統一〆入りの〆作成。	●江差ブランドを確立するための統一製品ラベル、梱包材を製作。	●タラで活〆を実施したが、購入者の好みがかかることから継続を断念。	●サクラマスで活〆を実施。高評価を得た。			
11	水産	【事業名】 ワカメ・コンブ・ホヤ活用試験事業(H29)	予算	-	-	500	-	-	●ワカメ・コンブについては、漂着物によるスレやヨコエビによる食害などで一部、芽落ちが見られたため商品価値が低かった。	●ホヤについては、順調な成長が確認されているものの、ワカメ・コンブと同様に試験出荷に向けて養殖試験を継続し適正を検証する。
		【事業内容】 未利用・低利用資源有効活用対策として、資源の有効活用と養殖業の可能性検討のため試験を行う。	決算	-	-	500	-	-		
		主な成果			●養殖試験に必要な施設整備等を実施。	●ホヤの試験飼育は順調 ●ワカメ・コンブは試験飼育を実施したが、原因不明の芽落ちが発生	●ホヤの試験飼育 ●ワカメ・コンブ試験飼育			
		主な取組名								
		新規振興作物の研究								
		単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望	
12	農務	【事業名】 アスパラガス伏込栽培実証試験事業	予算	0	0	436	88	0	●他の農作業とアスパラガス伏込栽培の作業時期が重複する時期がある ●ハウスの購入費用やハウスの加温に費用がかかる。 ●農業者からは、所得向上よりも、体を休める休息期間がほしいとの意見が出ている。	●今後、基盤整備事業やスマート農業化を進めて行くうえで、農業者のニーズを再確認しながら、アスパラガス伏込栽培の検討していきたい。 ●また、アスパラガス伏込栽培に限らず、新たな振興作物の検討や既存の高収益振興作物の生産性の向上も行いながら、農業者の所得増加につなげていきたい。
		【事業内容】 アスパラガスを通年、生産できる体制を構築し、産地として収益力を向上させ農家の所得増加につなげるとともに、地域ブランドとしての認知度を一層高めるため、実証試験事業に取り組む。	決算	0	0	0	0	0		
		主な成果		●第1回檜山改良普及センターとの協議(普及センター4名、町3名) ●第2回檜山改良普及センターとの協議(普及センター2名、町3名) ●JA新はこだて厚沢部基幹支店との協議(JA3名、町3名) ●(有)厚沢部町農業振興公社との協議(公社1名、JA1名、町3名)	●アスパラガス伏込栽培実証試験についてリーフレットを農業者に送付 ●送付部数 約110通 ●アスパラガス伏込栽培実証試験について農家個別訪問 ●訪問件数 8件 ●アスパラガス伏込栽培現地視察 ●視察先 厚沢部町農業振興公社 ●視察人数 4名(農業者2名、町2名)	●アスパラガス伏込栽培現地視察 ●視察先 厚沢部町農業振興公社 ●視察人数 4名(農業者2名、町2名)				

具体的な施策:③経営安定化対策								主な取組名		
農業機械・漁具等購入費用への助成								主な事業名		
	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望		
13	農務	【事業名】 農業機械購入費用助成	予算	7,000	7,600	7,600	4,000	2,500	●平成27年度に事業化し、5年間の事業期間として今年度が最終年度となる。 ●1/2補助及び上限50万円で5年間のうち1回のみとりており、約半数の農家が制度を利用している。 ●地域での意見を聴いた中では、金額が少ない、中古機械も対象として欲しいなどの意見が出ている。 ●また、農機の自動操縦やドローンによる農業散布等やICT(情報通信技術)により栽培管理を行うなど、スマート農業が拡大している。これら農作業の省力化により経営規模の拡大や肉体への負担の軽減等が図られる。	●今後施工する基盤整備では、担い手の農業経営の拡大、農地の集積がカギとなる。 ●スマート農業化への課題を整理し、農業者のニーズを把握しながら政策の決定を行いたい。 ●基盤整備の選考地区となる水堀地区をモデル地区と位置づける。 ●また、国や北海道の補助事業と合わせた補助事業の展開を検討していく。
		【事業内容】 農産物の品質及び生産性の向上、農作業の省力化・効率化に必要な農業機械の導入に際し、平成27年度から平成31年度の5か年間のうち1農業者1台に限り、補助対象経費の2分の1かつ50万円を上限として助成するもの。	決算	4,014	7,132	6,346	2,250	500		
14	水産	【事業名】 漁具等購入費用助成	予算	5,500	6,950	4,300	3,300	1,500	●平成27年度からの5か年の事業とし当初は個人の助成利用もあったが、水揚は低迷しているなか個人負担が発生することから平成29年度からは団体での助成が主となっている。	●利用も少なくなってきたことから、ある程度整備されたと判断し、予定通り令和元年度で終了する。
		【事業内容】 沿岸漁業の発展を促進し、併せて漁業者の経済的地位の向上を図るため、漁業者が行う漁業経営基盤安定に資する事業に対して補助を行う。	決算	5,245	6,321	1,449	941	1,323		
農業機械・漁具等購入費用への助成								主な取組名		
15	農務	【事業名】 農業共済制度加入補助	予算	2,500	2,200	1,600	2,000	2,000	●平成27～29年度の3か年の事業として行ってきたが、要望が多いため暫定として今年度まで継続してきた。 ●今年度から畜産にも拡大した。 ●共済掛金の2/10を補助。 ●災害や気象条件により販売収入が減少した場合の備えとなり、自助努力のみでは達成できない収入の減を補填するもの。 ●農業者の暮らしを守る観点からも同保険に対する補助の継続要望は多い。	●今年度から収入保険(共済保険か収入保険か選択性となった)も開始となったため、収入保険への拡大も視野に事業の継続を検討したい。
		【事業内容】 ・農業経営の安定化、持続可能な営農環境を作るため、農業共済掛金の10分の2を助成するもの。 ・農作物共済、畑作物共済、園芸施設共済の他、平成30年度から畜産も対象とした。	決算	1,568	1,453	1,392	1,753	1,900		
16	水産	【事業名】 漁船保険掛金補助	予算	3,500	3,750	6,500	6,300	6,000	●平成27年度からの5か年の事業とし、利用が多いため補助率を平成29年度に改正した。	●漁業者からは継続の要望もあることから、令和元年度以降も継続の方向で検討する。
		【事業内容】 沿岸漁業の発展を促進し併せて漁業者の経済的地位の向上を図るため、漁業者が行う漁業経営基盤安定に資する事業に対して補助を行う。	決算	3,710	4,318	5,909	5,603	5,354		
農・漁業経営体の組織化の推進								主な取組名		
		【事業名】 具体的な取組実績はありませんでした。	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望
		【事業内容】	予算							
			決算							
			主な成果							

		主な取組名						課題	今後の展望
商工業経営基盤安定化対策の推進		主な事業名							
17	商工	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	●商店数の減少が続くなか、市街地の特色を生かした活性化による町の賑わいを再生する。	●それぞれの商店街の魅力を高める取組を補助することで、商店街のにぎわいの創出、空き店舗増加による空洞化の抑制を図ると同時に、経営者が起業・開店しやすい環境を整備する。
		予算		1,500	2,300	1,500	1,500		
		決算		1,500	2,300	1,500	1,500		
		主な成果		●法華寺通り商店街(282千円) ・夜市,まんぷく茶屋,花壇,イルミネーション ●幼稚園通り賑わいの会(226千円) ・幼稚園通り飲食店大感謝祭 ●山の上商盛会(166千円) ・追分大会,なべ祭りでの商店街PR事業 ●歴まち商店街組合(334千円) ・江差北前のひな語り ●江差中央商店街(242千円) ・イルミネーション事業,花壇 ●愛宕町商店街(250千円) ・姥大神宮渡御祭応援スタンプラリー	●法華寺通り商店街(284千円) ・夜市,まんぷく茶屋,花壇,イルミネーション ●幼稚園通り賑わいの会(280千円) ・幼稚園通り飲食店大感謝祭 ●山の上商盛会(173千円) ・追分大会,なべ祭りでの商店街PR事業 ●歴まち商店街組合(380千円) ・江差北前のひな語り ●江差中央商店街(303千円) ・イルミネーション事業,花壇 ●江差商工会(880千円) ・商店街スタンプラリー	●法華寺通り商店街(248千円) ・夜市,まんぷく茶屋,花壇,イルミネーション ●幼稚園通り賑わいの会(61千円) ・幼稚園通り飲食店大感謝祭 ●山の上商盛会(143千円) ・追分大会,なべ祭りでの商店街PR事業 ●歴まち商店街組合(308千円) ・江差北前のひな語り ●江差中央商店街(265千円) ・イルミネーション事業,花壇 ●江差商工会(475千円) ・商店街スタンプラリー	●法華寺通り商店街 ・夜市,まんぷく茶屋,花壇,イルミネーション ●幼稚園通り賑わいの会 ・幼稚園通り飲食店大感謝祭 ●山の上商盛会 ・追分大会,なべ祭りでの商店街PR事業 ●歴まち商店街組合 ・江差北前のひな語り ●江差中央商店街 ・イルミネーション事業,花壇 ●江差商工会 ・商店街スタンプラリー		

具体的な施策:④農林水産業体験ブランド等メニューの構築

		主な取組名						課題	今後の展望
農・林・漁業体験メニューの構築		主な事業名							
18	農務	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	●一般を対象とした収穫体験の参加者が少ない。 ●これまでの開催では子供連れの参加者が多く、食育の観点からも子供の参加をできるだけ高めたいことから、学校行事等や地域のスケジュールを確認した上で日程を調整する必要がある。 ●初年度はじゃがいものみの収穫体験であったが、他の収穫もしたいとの要望を受け、平成30年度は枝豆の収穫体験も企画したが、開催時期が枝豆の収穫適期と合致せず無償での提供(収穫)となった。 ●収穫適期と参加者の一致が課題となる。 ●今年度は事業予算化がされていないが、既存予算を充用し昨年同様の事業を実施・企画する。	●播種作業と収穫を(防除は除く)一体的に体験することで、より収穫時の喜びを体験できると考えられる。 ●親子で参加することにより家族の絆が深まる。 ●収穫した農産物をその場で食べられる機会を提供できれば、より食育へ繋がる。 ●課題を精査しながら翌年度もよりよい事業にすべく検討していく。
		予算			0	330	0		
		決算			46	101			
		主な成果			●じゃがいも収穫体験 ●3m×1.3m区画を千円の参加料で実施。 ●10組27名の参加	●じゃがいも・枝豆収穫体験 ・じゃがいも:3m×1.3m区画を千円の参加料で実施。 ・枝豆:1kg500円の参加料で実施→開催時期が遅かったため収穫時期を過ぎてしまったため無償で実施。 ・4組7名の参加 ●スナックエンドウ,じゃがいも収穫体験 ・町内保育園4・5歳児を対象に参加料無償で実施。 ・51名の参加	●じゃがいも・枝豆収穫体験 ・9月中旬の実施予定。 ・農家とは事前協議済。 ●スナックエンドウ,じゃがいも収穫体験 ・町内保育園4・5歳児を対象に参加料無償で実施済(7/5)。 ・43名の参加		

※検証委員会にて、年度ごとの成果を明らかにしてほしいと指摘があったため、改めて調査するもの。
各課においては、黄色いセルが記入欄になります

↓(事務局へ)主管課記載の上、課ごとにセルを色分けしてください(ソートしやすくなります)

()内は累計数

【資料2】

基本目標② 江差文化体験交流づくりで仕事をつくる											
重要業績評価指標(KPI)の進捗											
KPINo.	主管課	KPI名	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み (H31の)目標値				
7	観光	観光入込客数	335	346	345	286	400千人				
8	観光	宿泊観光客延べ数	21	21	25	22	40千人				
9	観光	宿泊キャパ拡充(民泊含む)	390	390	390	390	400人				
10	観光	体験観光ガイドの育成	0(0)	2(2)	8(10)	0(10)	10人				
11	観光	体験観光メニューの構築	0(0)	1(1)	3(4)	1(5)	5メニュー(当初3メニュー)				
12	観光	人材育成セミナー等の開催		10(10)	1(11)	1(12)	10回				
具体的な施策:①江差版DMOの形成・確立											
主な取組名											
北海道江差観光みらい機構の運営強化											
事業No.	主管課	主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望	
19	観光	【事業名】 江差町観光まちづくり協議会の設立(H29) 【事業内容】 江差町の観光によるまちづくりを進めるために関係者の連携を図り、地域の様々な課題に取り組むことを目的とする。 ・日本遺産魅力発信推進事業及びDMO推進ほか	予算				21,091	35,848	11,385	●日本遺産魅力発信事業補助金終了後における事業費の確保と事業展開の検討 ●関係団体による観光を中心とした効果的な情報共有及び会議内容の確立	●江差版DMOである北海道観光みらい機構が設立・稼働したことから、DMO組織の推進及び充実のため、活動支援組織としての役割を継続する。
			決算				11,591	15,738	1,385		
20	観光	【事業名】 DMO推進員の配置(H28～) 【事業内容】 江差版DMO組織の推進体制整備及び人材育成	予算		11,660	5,460	6,586	6,586		※H30事業完了	●DMO推進員として組織設立準備を行い、平成31年度北海道江差観光みらい機構職員に採用された。これまでの経験をもとに組織運営の担い手としての活躍に期待をしている。
			決算		6,805	5,460	6,586	6,586			
21	観光	【事業名】 北海道江差観光みらい機構の運営強化 【事業内容】 同機構の組織体制確立及び運営強化	予算				3,801	35,763	35,763	●体験観光等事業運営に必要なプレイヤーや人材の確保 ●機構を取り巻く関係人口の拡大 ●組織運営体制の確立と町内事業者等との連携	●事業を発展していくためには、町内事業者との連携から始まり、体験観光プレイヤー等の人材を確保するなど、関係人口の拡大が求められる。関係人口の拡大により、機構のマネジメント機能等の充実、さらには運営強化につなげていく。
			決算				3,801	35,763	35,763		
主な取組名											
観光マネジメント人材の育成											
事業No.	主管課	主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望	
20(再掲)	観光	【事業名】 DMO推進員の配置(H28～) 【事業内容】 北海道江差観光みらい機構の運営強化で別掲	予算								
			決算								
		主な成果									

		主な取組名						課題	今後の展望	
大学等と連携したまちづくり		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30			H31(R1)見込み
22	観光	【事業名】 北海道教育大学函館校との連携協定(H28) 【事業内容】 江差町における観光まちづくり事業支援及びDMO形成支援 ほか	予算		2,000	2,000	2,000	1,500	●大学からの提言後における町の事業推進体制構築及び方向性の確立 ●町としての実効性の検討決定	●この間大学との連携協定により受けた提言を町としていかに活用し実行していくかを再精査し、実のある連携活動につなげ、協定期間終了後においても関係性を継続しながら町の関係人口拡大を図る。
			決算		2,000	2,000	2,000	1,500		
23	観光	【事業名】 大学と町民の活動拠点の整備 【事業内容】 空き家等再生の観点から、町民等の意識高揚を図るため、スタート事業として公共施設のリノベーションを行う。	予算			1,650	4,000	クラウドファンディング財源	●空き家再生に向けた町民の意識高揚促進 ●文化財関連施設のリノベーションに向けた方針検討等	●空き家再生事業の一環として、町民の意識高揚を図るため、観光事業への活用を目指しながら公共施設のリニューアルを行った。このスタート事業から町民等の意識高揚につながり、今後の事業進展に期待する。
			決算			3,997	1,895	クラウドファンディング財源		
		主な取組名						課題	今後の展望	
戦略的観光プランの策定		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30			H31(R1)見込み
24	観光	【事業名】 “古くて新しいまち江差”観光戦略書の策定(H28) 【事業内容】 官民一体となり地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地元愛を醸成し、多様な関係者と協同しながら「観光地経営」を行い地域活性化することを目的とした戦略書の作成。	予算		3,240	1,172			●観光戦略書を基軸とした観光地経営の意識高揚と基盤強化	●江差版DMO組織を中心としながら町内事業者等の意識高揚を図り、地域で「稼ぐ力」の仕組みづくり等強化を図る。
			決算		3,240	1,172				
		主な取組名						課題	今後の展望	
体験観光メニューの構築		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30			H31(R1)見込み
25	観光	【事業名】 体験観光メニューの構築(江差追分体験、家印づくり、着物でまち歩き) 【事業内容】 体験観光メニューの構築	予算		11,340	-			●体験観光メニュー化に向けたプレイヤーの確保 ●体験メニュー実施に向けた体制づくり	●江差版DMO(北海道江差観光みらい機構)を中心としながら、プレイヤーを発掘しながら、「誰が」「どのように」といった受入体制の構築を目指す。
			決算		11,340	-				
		具体的な施策②観光ブランド化の推進						課題	今後の展望	
		主な取組名								
		歴史文化構想の推進						課題	今後の展望	
		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30			H31(R1)見込み
26	地域文化	【事業名】 江差町歴史文化基本構想の策定(H28) 【事業内容】 国の方針に基づく歴史文化基本構想を策定し、江差町内における文化財の保存・活用の考え方を明示した。	予算	2,633	11,801	2,425	340	438	●「江差町歴史文化基本構想」を作成したが、その実践行動にまで及んでいない。	●「江差町歴史文化基本構想」の実践行動に取り組んでいきたい。
			決算	2,470	10,071	1,390	29	400		

		主な取組名					課題	今後の展望		
戦略的情報発信		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29			H30	H31(R1)見込み
27	観光	【事業名】 都市部等でのプロモーション活動	予算		2,220	3,109	5,753	5,554	●継続来町に向けた観光コンテンツの充実	●これまでの活動から平成31年度催行予定数が122件と身を結びつつあるが、実際には応募数の関係から催行中止のなるケースも多い。江差に魅力や興味を感じていただけるコンテンツの構築、コースづくり等の更なる充実が求められる。
		【事業内容】 町内の観光誘客を図るためのプロモーション活動を展開する。	決算		2,656	3,374	3,699	5,554		
28	観光	【事業名】 観光コンテンツの充実	予算				5,000	2,500	●江差町観光ポータルサイトの更新等最新情報の提供 ●地域内飲食店や企業との連携による情報強化	●イベント情報の発信をはじめ、古い情報を都度更新するなど内容の充実化を図り、観光客の利用しやすいサイトづくりを進める。
		【事業内容】 情報発信のための観光コンテンツ整備	決算				5,500	2,500		

		主な取組名					課題	今後の展望		
日本遺産登録を活かした取組強化		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29			H30	H31(R1)見込み
29	地域文化	【事業名】 日本遺産登録(H29)	予算	0	0	642	0	0	(「日本遺産」認定後は追分観光課にて担当)	
		【事業内容】 国の制度である「日本遺産」認定に向け、認定条件のひとつである歴史文化基本構想の策定を進め、認定を得た。	決算	0	0	662	0	0		
		主な成果		●文化庁へ挨拶	●文化庁と協議 ●「日本遺産」ストーリーの作成 ●「日本遺産」ストーリーの申請 ●「日本遺産」ストーリーの認定	●役場建物に「日本遺産」認定周知の看板設置 ●「日本遺産」認定イベントの開催				

		具体的な施策: ③広域連携による取組					課題	今後の展望		
		主な取組名								
		檜山7町と東京特別区との連携事業					課題	今後の展望		
		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29			H30	H31(R1)見込み
30	まちづくり推進	【事業名】 檜山7町と東京特別区との連携事業(H28:地方創生加速化交付金事業、H29:地方創生推進交付金事業)	予算	2,126	8,342	4,699	4,248	3,857	●レストランバスツアー ・推進交付金がなくなり(令和2年度～)通常価格となった場合の販売ターゲット(函館・道外・インバウンド)の選定を含めて旅行代金の設定 ・天候に左右されない体験メニューの考案と柔軟に対応できる体制 ●食・観光フェア / OTAふれあいフェスタ ・数年実施してきた効果が表れ檜山という名前が浸透してきたことから、更なる知名度向上を図るためにインターネット購入希望者への販路拡大 ・「DMを送ってほしい」「いつ次年度実施するか」等の要望があり、檜山のファン、リピーターを増やしていくためイベントPR手法の検討 ●全体として ・この事業を通じて東京都大田区と出来た関係の維持、発展 ・檜山の「食」と「自然」を活かした観光ルート作り ・推進交付金の支援がなくなった後の財源確保、事業推進体制(現在、上ノ国町が事務局)と道(檜山振興局)の支援体制 ・檜山/バリアフリーレジャーと、本事業とのタイアップ企画が出来ないか	●事業継続の有無を大田区及び管内各町と協議 ●事業継続する場合の事業推進体制(現在、上ノ国町が事務局)と道(檜山振興局)の支援体制を協議 ●管内統一的に取り組む観光資源の柱を何にするのか(現時点では『食』が有効と考えられる)、またエリア別事業は継続するか否か検討中 ●これまでの事業実施によって、首都圏における檜山の知名度が向上しており、大田区との関係も構築された。檜山の食や特産品の販路拡大には、首都圏でのPR活動及びマーケティングは重要であり、今後も継続すべきものとする ●事業で得られた経験と知見を、町内においてより実践的かつ効果的に活かしていくため、江差観光みらい機構と江差観光コンベンション協会との連携強化を図る必要がある
		【事業内容】 都市部へ積極的に地域のPRを実践し、波及効果の高い観光産業を軸に交流人口の拡大、移住・定住の促進を図り、農林水産業等との連携により檜山管内経済に波及効果をもたらす各種事業を展開する。	決算	1,865	7,408	4,648	3,974	3,857		
		主な成果		●東京都特別区民を対象としたモニターツアー実施(観光資源の発掘・磨き上げ、商品化検討) ●地域資源ポテンシャル基礎調査実施(東京在住の専門家を招聘) ●ポテンシャル基礎調査の結果を踏まえ、管内全体におけるマーケティングの基本戦略と、管内3エリア(北部、南部、奥尻町)ごとの戦略策定 ●管内をPRするホームページ開設 ●「北海道ひやま食・観光フェア」(於 大田区)を開催 ●人材育成研修実施(観光業従事者等)	●前年度にたてた戦略に基づき、東京都特別区民及び旅行エージェントを対象としたモニターツアーを実施(戦略検証) ●PRホームページの多言語化 ●「北海道ひやま食・観光フェア」を開催 ●OTAふれあいフェスタへ参加 ●人材育成研修実施(観光業従事者等)	●エリア別戦略の検証、見直し(滞在型旅行商品の開発)→檜山南部(江差、上ノ国、厚沢部、乙部)は「『食』をフックに歴史・文化、自然コンテンツを訴求」 ●PRホームページの更新 ●「北海道ひやま食・観光フェア」を開催 ●OTAふれあいフェスタへ参加 ●人材育成研修実施(観光業従事者等)	●エリア別戦略の検証(滞在型旅行商品の磨き上げ)→檜山南部(江差、上ノ国、厚沢部、乙部)は「レストランを活用した『食』をフックとした日帰りツアー」のテストマーケティング ●PRホームページの更新 ●「北海道ひやま食・観光フェア」を開催 ●OTAふれあいフェスタへ参加 ●人材育成研修実施(観光業従事者等)	●エリア別戦略の実行(滞在型旅行商品)→檜山南部(江差、上ノ国、厚沢部、乙部)は「レストランを活用した『食』をフックとした日帰りツアー」の商品化とプロモーション活動の実施 ●PRホームページの更新 ●「北海道ひやま食・観光フェア」を開催 ●OTAふれあいフェスタへ参加 ●人材育成研修実施(観光業従事者等)		

		主な取組名					課題	今後の展望	
		海・山・川！！障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業							
31	まちづくり推進	主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	
				【事業名】 海・山・川!!障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業(H28:地方創生加速化交付金事業、H29:地方創生推進交付金事業) 【事業内容】 全国的にも取組事例の少ない障がい者の観光受入を積極的に行うことで、檜山のイメージや知名度を向上させ、交流人口の増加、さらには定住人口の維持増加につなげるほか、地域で暮らすすべての人が暮らしやすい支え合いの地域づくりを進める。	予算 決算		19,632 18,972	7,354 7,392	6,140 6,228
		主な成果		●介助スタッフの配置(3名:中村家、追分会館、開陽丸) ●人材育成研修及びモニターツアー実施(業務委託:(株)JTB) ●フェリー待合所トイレ改修(多目的トイレ化) ●電動カート、電動アシスト付き自転車等の整備 ●先進地視察(沖縄県) ●人材育成研修参加(観光業及び福祉事業従事者等)	●介助スタッフの配置(3名:中村家、追分会館、開陽丸) ●開陽丸記念館階段昇降機設置 ●先進地視察(伊勢志摩) ●人材育成研修参加(観光業及び福祉事業従事者等)	●介助スタッフの配置(3名:中村家、追分会館、開陽丸) ●先進地視察(石川県金沢市、輪島市、小松市、中能登町) ●人材育成研修参加(観光業及び福祉事業従事者等)	●介助スタッフの配置(3名:中村家、追分会館、開陽丸) ●障がい者スポーツ大会視察及びひやまバリアフリーレジャーPR活動(青森県青森市) ●人材育成研修参加(観光業及び福祉事業従事者等)	●檜山地域を道内におけるバリアフリーレジャーの先進地化を図るために、中長期的に取組みを継続する必要がある ●檜山7町と東京特別区との連携事業と、本事業とのタイアップ企画ができないか ●政策間連携の日常化と強化を図るため福祉部局や観光部局、広域連携との体制構築 ●受入事業者等に継続的に研修できる仕組みづくり ●それぞれの地域における情報発信の継続、情報共有 ●推進交付金の支援がなくなった後(令和2年度～)の財源確保と事業推進体制(現在、檜山振興局が事務局)	●ひやまバリアフリーレジャー事業推進協議会(管内各町と関係者で構成)は、推進交付金終了後も継続することで確認済み ●今後も事業推進状況を構成各町で情報共有し、課題の解決に取り組むこととしている ●ひやまバリアフリーレジャー事業の知名度向上のため中長期的に事業継続するとともに、効果的な情報発信を検討する必要がある ●推進協議会構成各町で政策間連携を強化し、福祉の視点でハード・ソフト両面から観光振興に取り組むべきものとする ●事業で得られた経験と知見を活かし、町内でより広範に事業展開するため、江差観光みらい機構や江差観光コンベンション協会と連携強化を図る必要がある
		主な取組名					課題	今後の展望	
		日本で最も美しい村連合との連携							
32	観光	主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)	
		【事業名】 日本で最も美しい村連合との連携 【事業内容】 美しい村連合等と連携した各種PR活動	予算 決算	981 1,119	1,381 1,764	1,570 1,343	1,459 1,387	1,194 1,194	
		主な成果	●日本で最も美しい村連合加盟(H27.10.2) ●江差町役場庁舎内PR用パネルの作成 ●連合HPへの情報提供 ●町内美化活動	●日本で最も美しい村連合加盟表示看板の設置(町内3か所) ●連合HPへの情報提供 ●町内美化活動 ●札幌、東京での北海道連絡会PR活動	●連合HPへの情報提供 ●町内美化活動 ●札幌、東京での北海道連絡会PR活動	●連合HPへの情報提供 ●町内美化活動 ●札幌、東京での北海道連絡会PR活動	●連合HPへの情報提供 ●町内美化活動 ●札幌、東京での北海道連絡会PR活動	●美しい村連合加盟に係る効果の拡大 ●事業PRの強化	●美しい村連合加盟によるメリット及び町民自らの活動として事業PRの強化を図る。
		主な取組名					課題	今後の展望	
		定住自立圏構想の推進							
33	まちづくり推進	主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	
		【事業名】定住自立圏構想の推進 【事業内容】 地方圏において、安心して暮らせる地域を各地に形成して、地方圏からの人口流出を食い止めるとともに、地方圏への人の流れを創出することを全国的な見地から推進する施策である。 <中心市宣言:函館市> <定住自立圏形成協定> ・函館市と渡島・檜山管内17市町により、平成26年3月27日に締結 <特別交付税措置> 近隣市町は1,500万円を上限とする。	予算 決算	15,000 17,932	15,000 16,297	15,000 16,411	15,000 16,096	15,000 15,983	
		主な成果	●生活機能の強化に係る政策分野 ・広域救急医療体制の充実 ・広域観光の推進 ●結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 ・地域公共交通 ・基幹道路等ネットワーク整備の促進 ・国際化の推進 ●圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 ・人材育成等	●圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野に江差町の新規事業として、「高等教育機関との連携による地域マネジメント能力の向上」を追加(理由)教育大学函館校との協定締結を受けて	●特別交付税が上限額を超えているため、新規追加事業なし。	●特別交付税が上限額を超えているため、新規追加事業なし。 ●5年間の協定が終了することから、第2次北海道定住自立圏共生ビジョンを策定するに当たり、12月議会にて定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結(平成30年12月25日)	●生活機能の強化に係る政策分野 ・医療 ・産業振興 ●結びつきやネットワークの強化に係る政策分野 ・地域公共交通 ・道路等の交通インフラの整備 ・地域内外の住民との交流・移住促進 ●圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 ・人材育成等	●既存事業分で上限額を超え、新たな事業の展開や既存事業を拡充するための財源が確保できていないため、財政措置を拡充すべきとの声はあるものの、函館市を中心として広域連携が図られている。	●地方圏を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある中、地域で生活続けるために特に必要となる医療・福祉、地域公共交通の分野における更なる取組の必要性が強まっている。

		主な取組名					課題	今後の展望		
「えさし」同名自治体連携事業		単位:千円	H27	H28	H29	H30			H31(R1)見込み	
34	まちづくり推進	【事業名】「えさし」同名自治体連携事業	予算		1,348	0	1,203	1,300	●片方が片方の町へ赴く際には移動に時間を要することが課題としてあげられるが、これまでは管内での連携により取り組んできたが、道内に所在し「同名えさし」を逆手に取った事業展開は地域間交流の促進や経済・文化交流など両町の魅力発信や産業の振興、人材育成など地域活性化を促進する新たな広域連携の仕組み構築の基礎を固めることが出来つつある。	●徐々にではあるが、新たな広域連携の仕組みが構築され、交流人口の拡大が図られつつあるので、今後も継続した事業実施が望まれる。その際、行政のみならず、民間主導を含めた地域間交流への発展の効果を生み出したい。
		【事業内容】 ・同名自治体である宗谷総合振興局管内「枝幸町」と連携し、互いのポテンシャルを活用した各種連携事業を展開し、知名度アップはもとより、観光や産業の振興等、地域の活性化に資することを目的とし、「互いに尊重し、高め合う関係から生まれる地域の力」を創出する。	決算		154	226	1,191	1,300		
		具体的な施策:④受入環境等の整備								
		主な取組名					課題	今後の展望		
交流・賑わい拠点の整備		単位:千円	H27	H28	H29	H30			H31(R1)見込み	
35	まちづくり推進	【事業名】北の江の島構想策定(H29)	予算			2,000	122	7,894	●平成29年度に構想(案)を策定し、議会への説明も行ってきている。しかし、構想の対象範囲を含めて、あくまでも現在のはたき台であり、今後、議会との調整が必要になってくる。	●令和元年度は構想から実行へと動きだした所であり、まずはソフト事業の各種事業を展開しており、今後はハード事業の部分についての基本設計・実施設計へと段階をあげていき、かもめ島周辺の賑わい創出を目指していく。
		【事業内容】 まちのシンボル「かもめ島」を「江差観光の拠点」として交流人口の拡大、町民の憩いの場となるよう整備し、かもめ島周辺の賑わい創出により、「稼ぐ力」「儲ける仕組み」を構築し、地域の活性化を図り、古くて新しいまち江差の実現を目指す。	決算			1,874	4			
36	まちづくり推進	【事業名】 江差マリンスポーツ交流センターの整備(H29:地方創生拠点整備交付金事業)※簡易宿泊可能	予算			54,622			●平成30年度、令和元年7月末現在で活用実績なし ●マリンスポーツ交流センターの活用を絡めた体験プログラムがない ●体験プログラムを円滑に進めるための人員(船舶免許有資格者)が不足している ●誘客のための情報発信が弱い ●活用実績がないため現実的な課題が把握できない	●マリンスポーツ交流センターの活用を絡めた体験プログラムを作成 ●学校研修旅行、合宿等を誘致し施設利用の年間サイクルを構築 ●体験プログラムの充実を図るべく体制強化(船舶免許有資格者を増員する手法検討) ●誘客のための情報発信、体験プログラムの発案等のため江差観光みらい機構及び江差観光コンベンション強化と連携強化 ●マリンスポーツのマチとしての知名度向上を図ると共に、海洋教育及び意識啓発のため各種イベントを継続(アミューズseaフェスタ、海の家等)し内容充実を図ることで関係人口増加に繋げていく。
		【事業内容】 江差港マリーナ艇庫をマリンスポーツ等のアクティビティの拠点施設としてリノベーションし、マリンアクティビティを商品化することで新たな体験メニューの構築を図る。マリーナ施設利用者の宿泊も可能な施設とすることで、海洋スポーツ等の合宿誘致等につなげることで交流人口の拡大を図る。	決算			54,622				
		●実施設計 ●施工監理 ●建築工事 ・1階(既設:修理室、倉庫、男女トイレ及びシャワー室)→(改修後:事務室、男女更衣室、トイレ及びシャワー室) ・2階(既設:無線室、監視室)→(改修後:休憩室1及び2) ・外装:外壁改修、屋根葺替、庇新設 ・内装:間仕切壁改修、床・壁・天井張替、窓サッシ取替、照明器具取替、消防設備/換気設備等設置								

		主な取組名					課題	今後の展望		
宿泊施設の拡充・魅力向上		単位:千円	H27	H28	H29	H30			H31(R1)見込み	
37	商工	【事業名】 宿泊施設改修事業	予算						●北海道新幹線の開業効果を活かした観光誘客、観光産業の振興及び地域の活性化に資するため、既存の宿泊施設をより快適な施設として維持することが必須となっている。	●既存の宿泊施設の現状把握に努める。
		【事業内容】 宿泊施設の魅力向上や利便性の向上に資する工事に対し、1/2以内の範囲で助成する。	決算	5,240	4,770	4,560				
38	まちづくり推進	【事業名】 江差町まちづくり推進交付金創設(宿泊施設整備促進事業)	予算		補正対応	補正対応	補正対応	補正対応	●長年の懸案課題であった宿泊施設の整備について、平成30年度より補助率を嵩上げしたが、応募実績がなかった。また、既存の旅館組合から廃止すべきとの要請も受けたため、鋭意、話し合いの場の設定を試みてきたが、町外事業者が新たに江差町に進出することについて、一部の方から理解が得られていないことが課題として残っている(役場前の看板撤去問題)。	●平成28年度に創設したまちづくり推進交付金については、令和元年度にて一度終了することとなることから、次期総合戦略の策定と合わせて継続や改正の協議が求められる。
		【事業内容】 江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進施策として、地域の雇用創出や産業基盤の強化、交流人口の拡大、地域活性化等、まちづくりに資する各種の取組に対し交付金を交付(平成28年度創設、令和元年度終了) ・交付率 2/3 ・上限額 100,000千円 ・下限額 10,000千円	決算		0	0	0	精査中		
39	観光	【事業名】 宿泊施設観光サービス向上事業	予算							
		【事業内容】 食の魅力による観光誘客を目的に、各宿泊施設で提供される食事に「江差らしい一品」を加えたものに対し助成する。また姥神大神宮渡御祭の半纏を整備し、各宿泊施設へ配布する。	決算	3,289						
		主な取組名					課題	今後の展望		
民泊制度の活用促進		単位:千円	H27	H28	H29	H30			H31(R1)見込み	
40	江差追分	【事業名】 イベント民泊(江差追分全国大会)実証実験	予算			-	-	448	●全国大会時に江差へ宿泊を希望される方が少ない。そんな中で町内に泊まることをあきらめている方は、遠くは函館などに宿泊している現状。イベント民泊で「江差に泊まりたい」という意向に一部対応はしているが、普通の宿泊施設を希望される方々を呼び戻すところまでには至っていない。	●民泊経験者と施設所有者の交流が進むなど、関係人口増加につながっている。 ●ニーズがあれば今後も継続していきたい。
		【事業内容】	決算					448		
23 (再掲)	観光	【事業名】 大学と町民の活動拠点の整備(H29)	予算							
		【事業内容】 大学等との連携したまちづくりで別掲	決算							

		主な取組名					課題	今後の展望
		北海道新幹線等と連結した二次交通やアクセス等の整備						
		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み
		【事業名】 具体的な取組実績はありませんでした。 【事業内容】	予算 決算 主な成果					
		主な取組名					課題	今後の展望
		インフォメーション機能の充実						
		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み
41	まちづくり推進・観光	【事業名】 江差町観光情報総合案内所の設置(H28:地方創生加速化交付金事業) 【事業内容】 観光総合案内所の開設	予算 決算 主な成果		26,100 26,100	4,800 4,800	4,800 4,800	4,800 4,800
					●観光総合案内所の開設 ・開陽丸内に設置(実施設計、事務室拡張工事、トイレ改修、2Fエントランス改修、備品購入外)(22,000千円) ・案内人2名配置(財源:開陽丸補助金のうち約4,100千円)	●観光総合案内所の運営 ・開陽丸にて運営 ・案内人2名配置(財源:開陽丸補助金のうち約4,800千円)	●観光総合案内所の運営 ・開陽丸にて運営 ・案内人2名配置(財源:開陽丸補助金のうち約4,800千円)	●観光総合案内所の運営 ・北海道江差観光みらい機構にて運営 ・案内人2名配置
42	観光	【事業名】 観光施設の多言語観光案内版・誘導表示等の作成(江差追分会館・江差山車会館、旧中村家住宅、旧関川家別荘、旧檜山爾志郡役所、海の駅開陽丸) 【事業内容】 インバウンドに対応した観光看板及び施設表示の多言語化	予算 決算 主な成果	5,600 5,454	2,754 2,754	2,500 2,333	- -	- -
				●観光案内等言語ハリアフリー化推進(多言語標記調査検証)委託業務 ・案内板現状調査 ●多言語案内看板整備委託業務 ・いしえ街道既存大型看板多言語標記貼替4か所 ・追分会館前に大型案内看板設置	●観光案内多言語標記に係る調査委託	●観光施設の多言語観光案内版・誘導表示等の作成(江差追分会館・江差山車会館、旧中村家住宅、旧関川家別荘、旧檜山爾志郡役所、海の駅開陽丸)	●追分会館施設内多言語化 ●旧檜山爾志郡役所施設内多言語化 ●町内観光看板多言語化(10か所)	●かもめ島観光看板多言語化(2か所)
43	観光	【事業名】 主要観光施設等へのWi-Fi整備 【事業内容】 インバウンド対策に向けたWi-Fi整備	予算 決算 主な成果	5,400 3,983				
				●Wi-Fi整備(全14か所) ・整備箇所 江差町役場、海の駅開陽丸、町会会館、江差町文化会館、道の駅、壱番蔵、旧関川家別荘、鷗島上ステージ、鷗島下、旧中村家住宅、横山家、旧檜山爾志郡役所、草月蔵チャミセ、れすとらん江差家				
44	観光	【事業名】 外国人観光客の誘客のためのWebページ多言語化 【事業内容】 Webページの多言語化対応	予算 決算 主な成果					
								●江差町観光ホームページの多言語化対応
								●来町ターゲットに応じた言語対応への検討
								●インバウンド来町実績を踏まえながら、今後の対応言語の方針等を検討していく。

※検証委員会にて、年度ごとの成果を明らかにしてほしいと指摘があったため、改めて調査するもの。
各課においては、黄色いセルが記入欄になります

↓(事務局へ)主管課記載の上、課ごとにセルを色分けしてください(ソートしやすくなります)

()内は累計数

【資料3】

基本目標③ 江差っ子チャレンジ支援で仕事をつくる								
重要業績評価指標(KPI)の進捗								
KPINo.	主管課	KPI名	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	(H31の)目標値
13	まちづくり推進	創業・起業件数	0(0)	3(3)	1(4)	1(5)	0(5)	8件 (当初5件)
14	防災生活	空き家・空き店舗登録件数	0	0	0	0	0	30件
15	住宅管財	未利用町有地売却件数	1(1)	0(1)	0(1)	1(2)	0(2)	3件
16	健康推進	医師研究活動資金貸与件数	11(11)	11(22)	9(31)	8(39)	8(47)	40件
17	健康推進	看護師等育成確保対策(修学資金貸与)を活用し町内医療機関へ就職した人数	2(2)	1(3)	3(6)	2(8)	1(9)	7人
18	地域包括支援	地域振興への意欲を示しセカンドステージのまちづくり人材育成プロジェクトに参加する学生の数				24(24)	43(67)	15人
19	社会教育	江差こども未来応援プロジェクトに参加し、本町で就職することを決めた学生の数				1	4	5人

具体的な施策:①若者チャレンジ支援

主な取組名

事業No.	主管課	主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望
				予算	決算					
45	まちづくり推進	<p>【事業名】江差町企業立地の促進及び雇用の奨励に関する条例に基づく雇用奨励助成</p> <p>【事業内容】江差町における企業の立地を促進するため、町内に事業所を新設又は増設する者に対し、助成の措置を行うことにより、本町の産業経済の発展及び雇用機会の拡大を図る。</p> <p><対象></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資額1,000万円以上のもの ・(町内に住所を有する者で1年を超えて常時雇用される者に限る)の数が2人以上のもの 	主な成果	0	1,800	0	0	0	<p>●事務所管課(産業振興課)とまちづくり推進課との連携強化</p> <p>●周知方法(PR活動)の更なる充実が求められる。</p>	<p>●まちづくり推進交付金を活用した空き店舗等を活用した新規の創業・起業の件数については実績があるものの、条例に基づく大型の助成事業者はなかなか見込むことが難しい状況にあるため、トップセールスを含めた企業誘致の推進が求められる。</p>
				0	3,000	0	0	0		
					●助成額3,000千円(2事業者、5名)	●実績なし	●実績なし	●実績なし		
					※1人当たり600万円を上限					

		主な取組名					課題	今後の展望		
若者交流促進事業への支援		単位:千円	H27	H28	H29	H30			H31(R1)見込み	
46	まちづくり推進	【事業名】江差町まちづくり推進交付金創設(空き店舗等再生促進事業)	予算		全体予算で10,000千円	全体予算で10,000千円	全体予算で10,000千円	全体予算で10,000千円	●町議会からも情報発信(PR)をしっかりと声もあり、町広報誌への年複数回の掲載を行っているが、自己資金を投入しての運営となるため、毎年1件の申請に留まっている。	●平成28年度に創設したまちづくり推進交付金については、令和元年度にて一度終了することとなることから、次期総合戦略の策定と合わせて継続や改正の協議が求められる。
		【事業内容】江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進施策として、地域の雇用創出や産業基盤の強化、交流人口の拡大、地域活性化等、まちづくりに資する各種の取組に対し交付金を交付(平成28年度創設、令和元年度終了) ・交付率 1/2 ・上限額 3,000千円 ・下限額 500千円	決算		3,000	2,310	2,990	0		
47	まちづくり推進	【事業名】江差町地域活性化協力隊への支援	予算	34,633	全体予算で10,000千円	全体予算で10,000千円	全体予算で10,000千円	全体予算で10,000千円	●自主財源の確保や将来的自立を支援して来たが、隊員それぞれが仕事の隙間をぬっての活動であるため、活動に一定の制限があり、平成29年度をもって、活動拠点の借り上げを終了した(集まるのが難しいため)。課題としては新たな構成員の加入などがあげられている。	●平成28年度に創設したまちづくり推進交付金については、令和元年度にて一度終了することとなることから、次期総合戦略の策定と合わせて継続や改正の協議が求められる。
		【事業内容】次代を担う若者の活動を側面から支援し、移住定住に繋がる各種のイベントを通じて地域の活性化を推進する。	決算	1,833	1,998	700	0	0		
		主な取組名								
		江差子ども未来応援プロジェクト								
48	社会教育	【事業名】ミライ☆リーダー育成『夢限』プロジェクト	予算				2,000	2,058	●総合戦略の途中から事業展開された部分でもあり、また、企業版ふるさと納税を充てて事業を実施してきており、次年度以降の事業実施を協議する必要があると考えます。	●今年度も含め2回の事業実施ではありますが、地域的な要素もあり多種多様な機会に触れることが少ない中で、このように町内小中学生に対しての自分を育むための学習素材の提供は必要と考えられます。子どもたちが将来の為に多様性を受け入れ、それぞれの進路や将来について考えられる良い素材でもあり、思い出や印象がきっかけとなるアクションを今後も継続的に与える必要性があると考えます。
		【事業内容】	決算				2,124	1,840		
		主な取組名								
48	社会教育	【事業内容】	主な成果				●6月27日、町内小中学生463名を対象に、子どもたちに夢を持つこと、無限の可能性が秘められていることを伝えることを目的として町内小中学校児童・生徒を対象に「さかなクン講演会」を開催。江差町の地域で水揚げされる魚を利用しながら、魚について紹介。	目的は同様として、昨年に引き続き、7月11日、町内小中学生479名を対象に、米村でんじろうサイエンスプロダクション「ジャイアン村上サイエンスショー」を開催。様々な理科の実験や仕組みをわかりやすく説明し、子どもたちの将来へ繋げることが出来た。		

49	地域包括支援	【事業名】まちづくり人材育成プロジェクト	予算					836	982	①地域資源に対しての整理ができていないため、伝承するポイントが人や物など多岐に渡り、わかりづらい。 ②机上において議論するよりも企画に基づき各世代で実践しながら交流する機会が増えており、議論する場が減少している。 ③子どもたちの発想を引き出しきれていない(大人からの提案が多い)。自由な発想を発言できる場の設定が必要。	文化を継承しながら、町の「文化」を発信できる人材を育成していきたい。 ※①～③のどの者にも成りえる多世代の人材と体制を構築。 ①伝承する者・受け継ぐ者 ②企画考案する者・実行する者 ③発信する者 ※江差町を離れ遠くの地に行っても、その場所で故郷の情報を発信することで、地域の担い手としてプロジェクトの一員として活躍。
		【事業内容】 ◎まちづくりカフェ開催 ワールドカフェ方式で地域資源の保存・伝承に携る各世代が意見交換を行う。 ◎木工細工講座開催 多世代が交流し、地域が保有する資源の価値を見つめ直し、子どもたちの斬新な発想や視点を地域資源の新たな魅力づくりに繋げる。	決算					654	946		
			主な成果								

具体的な施策②若者等のUIJターンの促進

主な取組名

地域おこし協力隊等の活動支援

主な事業名		単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望	
50	まちづくり推進	【事業名】地域おこし協力隊の募集	予算	2,039	15,470	17,990	16,436	10,784	●家族の介護等、家庭の事情により、任期満了前に退職する事案も生じたが、一方で地元で就職し定住に結びついたケースもあった。今後も地域おこし協力隊卒業後の定住に向けた環境づくりや支援の充実の更なる向上を図り、安定して本制度を活用していくことが求められる。	●地域おこし協力隊の仕事のその後うまく活かすため、研修会や個別相談等を適宜開催し、真に定住に繋がるよう、今後も外からの視点を大切に制度運営の継続と充実を図っていく。
		【事業内容】 人口減少、少子高齢化が進む地域(条件不利地域)に、都市部より住民票を移動し、地域力の維持、強化につなげることを目的とした国の制度を活用した地域おこし協力隊員の配置 <共通業務> 定住・交流に向けた情報発信やイベントの企画、実施 地域おこし活動(地域イベントへの参画) <カテゴリ別> 各々、採用の際に定められた業務を担当	決算	1,968	12,801	13,220	14,927	10,784		
			●採用人員1名(A):札幌市・観光振興業務	●採用人員4名(うち2名(C),(D)は退職) (B)文化振興業務(札幌市) (C)特産品開発業務(札幌市) (D)特産品開発業務(船橋市) (E)観光振興業務(札幌市) ※(A)は継続	●採用人員2名 (F)特産品開発業務(東京都) (G)マリンスポーツ推進及び北の江の島構想推進担当(札幌市) ※(A),(B),(E)は継続	●新規採用なし (A)任期満了のため10月退職 (B)自己都合退職 ※(E),(F),(G)は継続	●新規採用なし (E)任期満了のため11月退職 ※(F),(G)は継続			

主な取組名

企業・ハローワーク等との連携

主な事業名		単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望	
51	商工	【事業名】就職活動応援「じもと×じごと発見フェア」(道企画)への協力	予算		0	0	0	0	●若者などが地域で働くことができるための雇用環境の充実	●地元企業等へ高校生に職場紹介をする機会を提供し、高校卒業後の地元就職につなげる。
		【事業内容】 就職活動をはじめる前や就職先を決定する際に、地域の仕事や企業を広く知るための企業展示会の開催	決算		0	0	0	0		
				●開催日 12/13 ●出展企業等 10社 ●参加者 66人 ※うち江差高校 26人	●開催日 9/26 ●出展企業等 15社 ●参加者 71人 ※うち江差高校 31人	●開催日 9/25 ●出展企業等 14社 ●参加者 59人 ※うち江差高校 8人	●後継事業の実施を予定			

		具体的な施策:③移住・定住対策(住環境整備等)								
		主な取組名								
		住宅リフォーム助成								
		主な事業名								
		単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望	
52	都市計画	【事業名】 住宅リフォーム助成	予算	12,000	11,740	12,460	12,460	12,460	●平成31年度(令和元年度)までの助成制度として創設。平成27年度からの継続事業で制度として定着してきており、制度上は大きな課題はない。現に住んでいる住宅が対象であり、住環境の向上には寄与しているが、直接的に移住定住をターゲットにした施策にはなっていない。 ●令和元年10月からの消費税率引き上げに伴い景気への影響が懸念される中、助成制度の終了により、町内の建設業者への影響も懸念される。 ●継続の可否の判断には需要の把握が必要だが、利用者・事業者へのアンケートでは把握が難しい。手法の検討が必要。	●令和2年度以降の事業継続の可否については検討が必要。需要については利用者・事業者へのアンケート調査を行っているが、それだけで把握ができていない状況。継続する場合は制度の見直し(対象、事業規模など)、商店街支援など他課で検討している制度との整合性などについて整理する必要がある。 ●移住定住をターゲットにするとすれば、空き家対策で別の事業の制度設計も検討すべき。
		【事業内容】 地域の消費喚起と地域経済活性化を図るため江差商工会が実施する住宅リフォーム商品券の発行を支援(発行総額50百万円、プレミアム率25%(1枚50,000円分のリフォーム商品券を40,000円で販売(1,000枚※H27のみ1,200枚))	決算	12,000	11,738	12,385	12,433	12,460		
		主な成果	●決算額 12,000千円(うちプレミアム分の補助額 12,000千円) ・工事実施件数 89件 ・工事実施額 79,708千円	●決算額 11,738千円(うちプレミアム分の補助額 9,730千円) ・工事実施件数 71件 ・工事実施額 63,436千円	●決算額 12,385千円(うちプレミアム分の補助額 10,000千円) ・工事実施件数 74件 ・工事実施額 74,272千円	●決算額 12,433千円(うちプレミアム分の補助額 10,000千円) ・工事実施件数 68件 ・工事実施額 77,043千円	●決算見込額 12,460千円(うちプレミアム分の補助額 10,000千円) ・工事実施件数 79件(見込み) ・工事実施額 60,731千円(見込み)			
		主な取組名								
		空き家・空き店舗バンク登録制度								
		主な事業名								
		単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望	
53	防災生活	【事業名】 空き家等実態調査及び空き家台帳管理システム導入(H28)	予算		(27繰越)6,070				●「空き家」の状況は変化が著しいことから、データの更新が必要	●調査結果に基づく「空き家台帳」により、危険空き家を継続して監視し、「特定空き家」の認定に繋げる。
		【事業内容】 町内空き家情報調査及び空き家台帳管理システム導入	決算		5,956					
		主な成果		●空き家総数429件が確認され、「適正管理されている空き家162件」「適正管理されていない空き家267件」を把握 ●「空き家台帳」としてデータ化し、危険度状況及び町の措置状況等の管理						
54	防災生活	【事業名】 空き家対策に関する庁舎内検討委員会の設置(H29)	予算			0	0	0	●特になし	●「庁舎内検討委員会」では、「特定空き家認定」「解体補助制度の原案作成」等の実績から、「空き家対策」の中核を担っており、今後も継続して開催することで、更なる効果が生まれる。
		【事業内容】 空き家の適正管理と利活用に関する空き家施策に係る方針の協議	決算			0	0	0		
		主な成果			●「空き家対策」の現状及び課題を整理し、具体的対策の取組み。 ●適正管理がされていない267件から、「危険空き家」の絞り込み作業を実施	●「危険空き家」49件を抽出し、「特定空き家判断の手引き」により、「特定空き家」29件を選定 ●「危険空き家解体補助制度」の原案作成	●「空き家バンク制度の構築(利活用)」に係る原案作成(年度内予定)			
55	防災生活	【事業名】 江差町危険空き家解体費補助の創設(H31)	予算					2,000	●「特定空き家認定通知書」が発表されてから「3年以内に解体」した空き家が対象であることから、即効性が見られない。 ●「特定空き家」は今後も認定作業を継続することから、補助対象件数が増加する一方で、自己資金が調達できない場合は「空き家」として存在し続ける可能性が高い(解体費用の1/2、上限50万円)。 ●現状では「時限立法」を採用していないことから、制度の廃止時期を見極める必要がある。	●令和元年5月に「特定空き家認定通知書」発布以後、制度活用に興味を示しているのが5件程度あり、今後は少なからず解体が進むこととなることから、生活環境の保全と安心なまちづくりが図られることを期待する。
		【事業内容】 「特定空き家」に対し、補助対象経費の1/2以内(上限50万円)を補助	決算					2,000		
		主な成果					●H31.4.1からの事業開始であることから、7月末現在の実績はまだない(予算500千円×4件)。			
		主な取組名								
		未利用町有地の有効活用								
		主な事業名								
		単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望	
56	住宅管財	【事業名】 公有地購入促進奨励金等交付制度(H27創設)(H30改定)	予算	0	5,642	0	0	0	●土地の現況に合せた売却価格の算定。 ●より多くの人に知ってもらうための周知方法や周知範囲の検討。	●奨励金交付制度は当面現状の内容で継続。 ●土地の売却価格の算定の検討。
		【事業内容】 公募した町有地を購入した方で一定の要件を満たした方に交付金を交付。	決算	0	0	0	0	0		
		主な成果	●売却件数 1件	●実績なし	●実績なし	●売却件数 1件	●実績なし			

		具体的な施策:④子育て環境の充実								
		主な取組名								
		子育て世代への経済支援 - おむつ代、学校給食費助成								
		主な事業名								
		単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題	今後の展望	
57	健康推進	【事業名】 子育て応援券の交付(おむつ等)	予算	5,100	4,832	5,006	4,077	3,903	●利用者からは「すごく助かる」との声が聞かれ、満足度が高いことが伺えるが、使用による効果についての把握ができていない。	●健診等を活用し、利用者の声や意見をもらい、制度の充実を図る。
		【事業内容】 0歳児・1歳児の保護者に対し、紙おむつ等に交換できる券を交付。 1片1,000円×4枚×12ヵ月分	決算	1,720	4,832	5,006	3,592	3,903		
		主な成果	●配布人数 75人 ●交付枚数 3,600枚 ●使用率 86.7%	●配布人数 122人 ●交付枚数 6,532枚 ●使用率 93.7%	●配布人数 96人 ●交付枚数 5,491枚 ●使用率 93.6%	●配布人数 99人 ●交付枚数 5,212枚 ●使用率 82.0%	●配布人数 80人 ●交付枚数 3,840枚			
				※対象品目を紙おむつ・おしりふき・粉ミルクに拡大						
58	学校教育	【事業名】 学校給食費助成(小中学校)	予算	7,500	5,924	6,411	6,720	6,802	●上ノ国町と2町で一部事務組合での運営となっているが、上ノ国が全額助成となっている。	●全額助成の検討
		【事業内容】 町立小中学校に通学する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、家庭生活環境の向上と安心して子どもを産み育てる環境づくりを支援(生活保護世帯、就学援助支給世帯は対象外)	決算	6,043	5,771	5,578	6,174	6,802		
		主な成果	●助成人数 400人	●助成人数 322人	●助成人数301人	●助成人数348人	●助成予定人数377人			
59	福祉子育て	【事業名】 第3子以降の保育料無償化(保育園)	予算	5,375	4,257	5,950	3,955	1,853	●消費税等の引き上げに伴い、保育料の無償化制度が令和元年10月1日から開始される	●国が無償化の対象外としている給食費(副食費)について、近隣の動向に加え、小中学校の給食費との兼ね合いを踏まえて検討
		【事業内容】 同一世帯に18歳以下の子どもが3人以上いる場合、第3子以降の保育料を無償化	決算	5,556	5,297	6,890	4,152	3,213		
		主な成果	●対象:24人	●対象:23人	●対象:26人	●対象:26人	●対象:22人 ・4~9月:22人 ・10~3月:7人(▲15人)			
60	福祉子育て	【事業名】 幼児教育・保育の無償化(保育園)	予算					5,677	●無償化の対象外とされる給食費(副食費)の取扱い	●国が無償化の対象外としている給食費(副食費)について、近隣の動向に加え、小中学校の給食費との兼ね合いを踏まえて検討
		【事業内容】 消費税の引き上げに伴い令和元年10月から、①3~5歳児の保育園利用料を無償化。②0~2歳児で保育園を利用する住民税非課税世帯を対象に保育園利用料を無償化。	決算					5,677		
		主な成果					●対象:41人 ※今年度は、半年分 ・3~5歳児 40人 ・0~2歳児 1人 合計 41人			
61	学校教育	【事業名】 第3子以降の保育料無償化(幼稚園)	予算						●無償化の対象外とされる給食費(副食費)の取扱い	●令和元年10月より全国児無償化 ●国が無償化の対象外としている給食費(副食費)について、近隣の動向に加え、小中学校の給食費との兼ね合いを踏まえて検討
		【事業内容】 町立幼稚園・私立幼稚園に通う第3子以降の園児の保育料を無償化とするもの	決算		590	1,617	2,618	827		
		主な成果		●対象:5人	●対象:13人	●対象:13人	●対象:6人			

62	国保医療	【事業名】 子供の医療費助成	予算	26,779	26,617	24,633	22,851	23,588	●なし	●制度継続
		【事業内容】 子どもの医療費の自己負担分を助成。 ●対象者 ・H26.9まで→中学校卒業までの子ども ・H26.10から→満18歳に達する日以降の最初の3月31日までの子ども	決算	24,558	23,611	22,558	22,709	23,588		
		主な成果		●受給者数 809人	●受給者数 808人	●受給者数 774人	●受給者数 761人	●受給者数 760人		
主な取組名										
子育てサポート体制の充実 - 学童保育の拡充等										
63	福祉子育て	【事業名】 学童保育所の開所	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題 ●学校生活ルールの運動性確保 ●放課後の預かり時間の延長 ●長期休暇中の預り開始時刻の繰り上げ	今後の展望 ●平成29年度から小学校と学童保育所指導員及び町民福祉課による連携会議を開催し、学校生活と学童保育所生活の運動性を双方で確認・協議しており、継続を図る ●学童保育所指導補助員を1名採用したことからなかよし児童会(江小)の預り時間を従来の17時15分から18時00分に延長(令和元年7月29日)。なお、つばさ児童会(南小)については、指導補助員の確保ができ次第、なかよし児童会と同様に延長する。 ●長期休暇中の預り開始9時00分を早める事について、指導補助員の確保状況を踏まえて検討
		【事業内容】 ●運営主体:江差町 ●対象学年:小学1~6年生 ●開設場所:校内(空教室) ●指導員:各2名 ●開設:[平日放課後~17:15][長期休暇9:00~17:15]	予算	4,729	5,226	5,200	4,843	6,707		
		主な成果		●なかよし児童会(江小) ・開所日数:237日 ・月平均利用:16人 ・定員:30人 ・延一時保育利用:40人 ●つばさ児童会(南小) ・開所日数:236日 ・月平均利用:19人 ・定員:25人 ・延一時保育利用:9人	●なかよし児童会(江小) ・開所日数:235日 ・月平均利用:22人 ・定員:30人 ・延一時保育利用:25人 ●つばさ児童会(南小) ・開所日数:235日 ・月平均利用:16人 ・定員:25人 ・延一時保育利用:23人	●なかよし児童会(江小) ・開所日数:233日 ・月平均利用:27人 ・定員:30人 ・延一時保育利用:42人 ●つばさ児童会(南小) ・開所日数:234日 ・月平均利用:17人 ・定員:25人 ・延一時保育利用:44人	●なかよし児童会(江小) ・開所日数:234日 ・月平均利用:13人 ・定員:30人 ・延一時保育利用:79人 ●つばさ児童会(南小) ・開所日数:221日 ・月平均利用:13人 ・定員:25人 ・延一時保育利用:16人	●なかよし児童会(江小) ・開所日数:235日 ・月平均利用:20人 ・定員:30人 ・延一時保育利用:47人 ●つばさ児童会(南小) ・開所日数:232日 ・月平均利用:16人 ・定員:25人 ・延一時保育利用:23人		
64	福祉子育て	【事業名】 水堀学童保育所運営補助	予算	300	300	300	300	300	●施設の老朽化(現在、旧教員住宅を使用) ●児童数の減少への対応 ●指導員等の確保	●学校近隣地への移転検討 ●今後の児童数の減少に際し、運営主体との協議 ●運営上、指導員等2名体制が必要なため、指導員や指導補助員の確保対策
		【事業内容】 ●運営主体:父母会 ●対象学年:小学1~6年生 ●開設場所:校舎隣接(空住宅) ●指導員:1名	決算	300	300	300	300	300		
		主な成果		●水堀学童保育所(江差北小) ・開所日数:243日 ・月平均利用:13人 ・定員:20人	●水堀学童保育所(江差北小) ・開所日数:245日 ・月平均利用:19人 ・定員:20人	●水堀学童保育所(江差北小) ・開所日数:235日 ・月平均利用:13人 ・定員:20人	●水堀学童保育所(江差北小) ・開所日数:241日 ・月平均利用:13人 ・定員:20人	●水堀学童保育所(江差北小) ・開所日数:241日 ・月平均利用:15人 ・定員:20人		
主な取組名										
安心して子どもを出産できる環境づくり										
65	健康推進	【事業名】 道立江差病院での第1子分娩可能になるよう札幌医大への要請行動	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み	課題 ●公的医療機関において第1子分娩を取り扱うには複数の産婦人科医師が必要(日本産婦人科学会)であり、医局が医師不足の中、道立江差病院に複数の産婦人科医師の派遣は現実的ではない。 ●妊婦健診の利用率も減少傾向にあるが、地元で健診が受けれる環境は必要。	今後の展望 ●「道立江差病院産婦人科の維持」を継続要望すると同時に、町外医療機関での妊産婦健診等に係る経済的支援の検討をする。
		【事業内容】 札幌医科大学長及び産婦人科教授に要望書を手渡しし要請。 ●南檜山2次医療圏構成町長(江差・上ノ国・厚沢部・乙部・奥尻)・檜山振興局長・道立病院局・檜山町村会	予算	29	29	29	29	29		
		主な成果		●なし	●なし	●なし	●なし	●なし		

		主な取組名					課題	今後の展望
		医療体制の充実(医療従事者の確保等)						
		主な事業名	単位:千円	H27	H28	H29	H30	H31(R1)見込み
66	健康推進	【事業名】 道立江差病院常勤医師に対する医師研究資金貸与事業の実施 【事業内容】 1年以上勤務する道立江差病院常勤医師に対して研究資金を貸与。貸与期間を継続勤務した場合は返還免除	予算	24,250	25,500	23,000	20,500	20,000
			決算	24,250	25,500	23,000	20,500	18,500
主な成果			●貸付者 11人	●貸付者 11人	●貸付者 9人	●貸付者 8人	●貸付者 8人	
67	健康推進	【事業名】 看護師等育成確保対策 【事業内容】 看護職養成校に通学している学生に対し修学資金を貸与 月額 50,000円 看護師として町内医療機関に5年間勤務すると返還免除	予算	4,799	6,000	4,800	2,400	6,000
			決算	3,250	6,000	4,800	2,400	6,000
主な成果			●貸付者 6人 ●町内医療機関就職 2人 ・町内出身 0人 ・町外出身 2人	●貸付者 10人 ●町内医療機関就職 1人 ・町内出身 1人 ・町外出身 0人	●貸付者 8人 ●町内医療機関就職 3人 ・町内出身 2人 ・町外出身 1人	●貸付者 4人 ●町内医療機関就職 2人 ・町内出身 0人 ・町外出身 2人	●貸付者 5人(令和元年7月現在) ●町内医療機関就職 1人 ・町内出身 0人 ・町外出身 1人	